

平成25年4月の観光客の動向

【 主要宿泊施設と主要観光施設・ドライブインの動向 】

1 概要

平成25年4月における調査対象ホテル・旅館88施設の宿泊客数（宿泊延べ人員）は、合計270,248人で、前年同月比3.0%減となった。このうち外国人は、12,187人で前年同月比21.7%増となった。

平成25年4月における調査対象観光施設・ドライブイン23施設の入場・来場者数（延べ人員）は、合計584,001人で、前年同月比8.3%減となった。

4月の宿泊客数は、台湾や関東・北海道からのツアー客は増加したものの、中部・関西・中国・四国からの宿泊客が減少したことなどにより、前年を下回った。

外国人観光客については、韓国や中国からの入り込みが落ち込んだものの、台湾からのツアー客が大幅に増加し、前年を大きく上回った。

観光施設・ドライブインの入場・来場者数については、好天により一部施設で増加したものの、団体客減少などにより、全体としては前年を下回った。

2 主な地区別の動向

- (1) 鹿児島地区の宿泊客数は96,032人と、前年同月比4.8%減少した。
- (2) 指宿地区の宿泊客数は55,780人と、前年同月比9.7%減少した。
- (3) 霧島地区の宿泊客数は60,649人と、前年同月比1.1%減少した。
- (4) 北薩地区の宿泊客数は11,192人と、前年同月比10.4%増加した。
- (5) 大隅地区の宿泊客数は10,182人と、前年同月比5.1%増加した。
- (6) 種子島地区の宿泊客数は2,148人と、前年同月比18.8%減少した。
- (7) 屋久島地区の宿泊客数は14,134人と、前年同月比1.1%増加した。
- (8) 奄美地区の宿泊客数は17,017人と、前年同月比12.4%増加した。
- (9) その他地区の宿泊客数は3,114人と、前年同月比7.3%増加した。

宿泊客数を地区別に見ると、鹿児島地区は、関東・中部・関西・北部九州からの宿泊客や個人客が減少したことなどにより、前年を下回った。指宿地区は、北海道や台湾からの宿泊客が増加したものの、中部・関西・中国からの宿泊客や、個人・団体客がともに減少したことに加え、大きな伸びをみせた前年の反動もあり、前年を下回った。霧島地区は、関東や台湾からの宿泊客が増加したものの、中部・関西・北部九州・県内からの宿泊客や個人客が減少したことなどにより、前年を下回った。北薩地区は、関西・九州からの宿泊客やビジネス客が増加したことなどにより、前年を大きく上回った。大隅地区は、大会参加目的の団体客が増加したことなどにより、前年を上回った。種子島地区は、関東・中部・県内からの宿泊客や個人・団体客ともに減少したことなどにより、前年を大きく下回った。屋久島地区は、関西・中国からの宿泊客や団体客が減少したものの、関東・中部・県内からの宿泊客や個人客が増加したことなどにより、前年を上回った。奄美地区は、関東・県内からの宿泊客や個人客が増加したことに加え、一部施設のリニューアル開業などにより前年を大きく上回った。その他地区は、関東・南九州からの宿泊客や一般団体・企画ツアー客が増加したことなどにより、前年を上回った。

【 「宿泊施設」「観光施設・ドライブイン」全体の動向 】

宿泊施設と観光施設・ドライブイン 総合

平成25年4月

(単位:人、%)

	対象施設	宿泊者数 入場・来場者数	前年同月	前年比	参考: 24年前年比 (24/23)
主要宿泊施設	88	270,248	278,528	▲ 3.0	25.5
主要観光施設 ドライブイン	23	584,001	637,141	▲ 8.3	44.4

※ ゴールデンウィーク期間が平日を挟み分散し、長期休暇が取りにくかったこと等が影響したものと推測されるが、全線開業前と比較すると、高い水準を維持している。

【 主要宿泊施設の宿泊者 】

宿泊客数(延べ人数)

(単位:人、%)

	平成25年4月	前年同月	前年比	参考: 24年前年比 (24/23)
合計	270,248	278,528	▲ 3.0	25.5
鹿児島地区	96,032	100,893	▲ 4.8	1.2
指宿地区	55,780	61,796	▲ 9.7	48.8
霧島地区	60,649	61,342	▲ 1.1	75.8
北薩地区	11,192	10,139	10.4	9.3
大隅地区	10,182	9,686	5.1	4.0
種子島地区	2,148	2,645	▲ 18.8	37.5
屋久島地区	14,134	13,986	1.1	53.6
奄美地区	17,017	15,139	12.4	3.1
その他	3,114	2,902	7.3	▲ 5.1

【 観光施設・ドライブイン 】

入場・来場者数(延べ人数)

(単位:人、%)

	平成25年4月	前年同月	前年比	参考: 24年前年比 (24/23)
合計	584,001	637,141	▲ 8.3	44.4
観光施設	462,619	514,239	▲ 10.0	44.7
ドライブイン	121,382	122,902	▲ 1.2	42.8

※ 春休み期間を含む4月上旬の天候が悪かったことなどから、対前年比8.3%の減となった。

【 発地別宿泊客数の動向 】

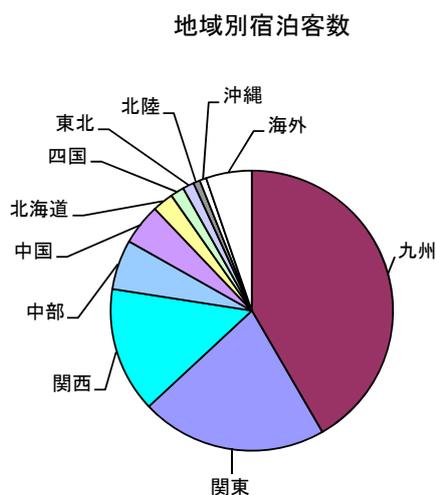
1 地域別

宿泊客数を地域別にみると、九州 96,869 人（構成比 41.7%）が約 4 割を占め最も多く、次いで関東 49,578 人（同 21.3%）、関西 33,634 人（同 14.5%）の順となっている。

地域別入り込み客数（延べ人数）

（単位：人、%）

	平成25年4月（構成比）	前年同月	前年比
合計	232,414（100.0）	240,803	▲ 3.5
北海道	5,585（2.4）	3,593	55.4
東北	3,031（1.3）	3,045	▲ 0.5
関東	49,578（21.3）	46,214	7.3
北陸	1,794（0.8）	2,117	▲ 15.3
中部	13,364（5.8）	16,194	▲ 17.5
関西	33,634（14.5）	42,808	▲ 21.4
中国	10,968（4.7）	13,436	▲ 18.4
四国	3,626（1.6）	4,534	▲ 20.0
九州	96,869（41.7）	97,218	▲ 0.4
沖縄	1,778（0.8）	1,629	9.1
海外	12,187（5.2）	10,015	21.7



注：地域別回答があった先の集計のため、宿泊数全体とは一致しない

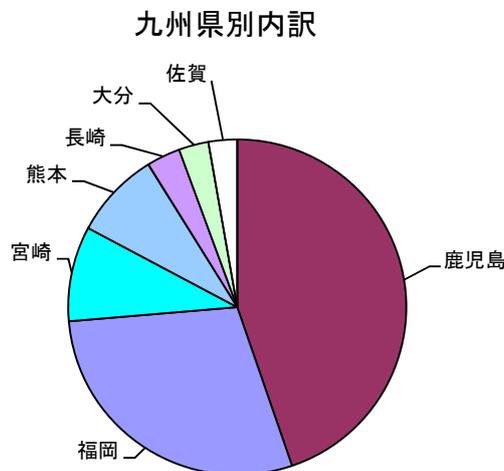
2 九州県別内訳

九州からの宿泊客数を県別にみると、県内 42,380 人（構成比 44.7%）が最も多く、次いで福岡 27,385 人（同 28.9%）、宮崎 8,670 人（同 9.2%）が続いている。

九州県別内訳

（単位：人、%）

	平成25年4月（構成比）	前年同月	前年比
合計	94,714（100.0）	96,446	▲ 1.8
福岡	27,385（28.9）	29,373	▲ 6.8
佐賀	2,598（2.7）	2,805	▲ 7.4
長崎	3,048（3.2）	2,937	3.8
熊本	7,938（8.4）	7,882	0.7
大分	2,695（2.8）	2,288	17.8
宮崎	8,670（9.2）	8,720	▲ 0.6
鹿児島	42,380（44.7）	42,441	▲ 0.1



注：九州県別回答があった先の集計のため、宿泊数全体とは一致しない

3 国・地域別内訳

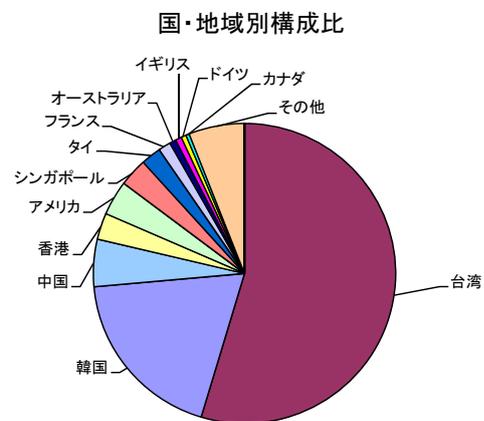
海外からの宿泊客のうち、アジア地域別にみると、台湾 6,593 人（構成比 54.6%）が最も多く、韓国 2,286 人（同 18.9%）、中国 615 人（同 5.1%）、香港 344 人（同 2.9%）、シンガポール 366 人（同 3.0%）の順となっている。台湾は、鹿児島—台北線就航により観光ツアー客が増加し、前年を大きく上回った。

また、アジア以外の地域は、アメリカ 451 人（同 3.7%）、フランス 159 人（同 1.3%）、オーストラリア 83 人（同 0.7%）などとなった。

国・地域別内訳

（単位：人、%）

	平成25年4月（構成比）	前年同月	前年比
合計	12,067（100.0）	9,991	20.8
台湾	6,593（54.6）	3,961	66.4
韓国	2,286（18.9）	2,370	▲ 3.5
中国	615（5.1）	844	▲ 27.1
香港	344（2.9）	497	▲ 30.8
アメリカ	451（3.7）	477	▲ 5.5
シンガポール	366（3.0）	517	▲ 29.2
タイ	261（2.2）	123	112.2
フランス	159（1.3）	196	▲ 18.9
オーストラリア	83（0.7）	140	▲ 40.7
イギリス	80（0.7）	106	▲ 24.5
ドイツ	65（0.5）	125	▲ 48.0
カナダ	44（0.4）	63	▲ 30.2
その他	720（6.0）	572	25.9



注：国・地域別回答があった先の集計のため、地域別入り込み客数とは一致しない

【形態別宿泊客数の動向】

宿泊客を形態別にみると、個人客（含む家族・小グループ）が 152,966 人（構成比 69.3%）、団体客（15名以上）は 67,690 人（同 30.7%）となった。

形態別宿泊客数

（単位：人、%）

	平成25年4月（構成比）	前年同月	前年比
合計	220,656（100.0）	230,309	▲ 4.2
個人客（含む家族・小グループ）	152,966（69.3）	157,874	▲ 3.1
団体客（15名以上）	67,690（30.7）	72,435	▲ 6.6
内 団体小計	67,690（100.0）	72,435	▲ 6.6
内 一般団体・企画商品	64,378（95.1）	67,557	▲ 4.7
内 大会	2,112（3.1）	1,585	33.2
内 教育旅行	1,200（1.8）	3,293	▲ 63.6

注：回答のあった先のみの集計のため、全体合計とは一致しない

【 宿泊単価・売上金額・購入単価の動向 】

1 宿泊単価

宿泊単価のうち、客室単価は、前年同月と比較して「高い」と答えた施設は10.1%、「前年並み」と答えた施設は68.4%、「低い」と答えた施設は21.5%となった。

付帯消費額については、前年同月比で「高い」は6.4%、「前年並み」が73.1%、「低い」が20.5%となった。

	客室単価	付帯消費額
合 計	100.0	100.0
高 い	10.1	6.4
前年並み	68.4	73.1
低 い	21.5	20.5

2 売店の売上金額・購入単価

観光施設・ドライブインの売店の売上金額については、前年同月と比較して「増加」と答えた施設は5.6%、「前年並み」が22.2%、「減少」が72.2%となった。

また、1人当たりの購入単価については、前年同月比で「増加」と答えた施設は16.7%、「前年並み」は22.2%、「減少」は61.1%となった。

	売上金額	購入単価
合 計	100.0	100.0
増 加	5.6	16.7
前年並み	22.2	22.2
減 少	72.2	61.1

調査の概要

本県の最新の観光客の動向を定期的に把握し、本県観光の誘致対策等に役立てるとともに、観光関係者のビジネスや効果的な事業展開などにも広く活用していただくため、県内主要宿泊施設、観光施設等への宿泊・入り込み状況について、アンケート調査を実施いたしました。

・調査期間 平成 25 年 4 月 1 日～4 月 30 日

・調査項目

- | | | |
|-----------------|---|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ホテル・旅館 | } | <ul style="list-style-type: none"> ① ホテル・旅館の全宿泊者数（延べ人数） ② 方面別宿泊者数（国内地域、海外） ③ 海外宿泊者数（国・地域別内訳） ④ 宿泊単価（客室単価、付帯消費額） <p style="text-align: center;">対前年比「高い」、「昨年並み」、「低い」から選択</p> |
| 観光施設・
ドライブイン | } | <ul style="list-style-type: none"> ① 入場者来場者数 ② 売店売上金額（対前年比「増加」、「昨年並み」、「減少」から選択） ③ 一人当たり購入金額（対前年比「上昇」、「昨年並み」、「下落」から選択） |

・調査対象

(1) ホテル・旅館	88 施設	鹿児島地区	21
		指宿地区	10
		霧島地区	14
		種子島地区	5
		屋久島地区	5
		奄美地区	9
		大隅地区	9
		北薩地区	9
		その他地区	6
(2) 観光施設	18 施設		
(3) ドライブイン	5 施設		